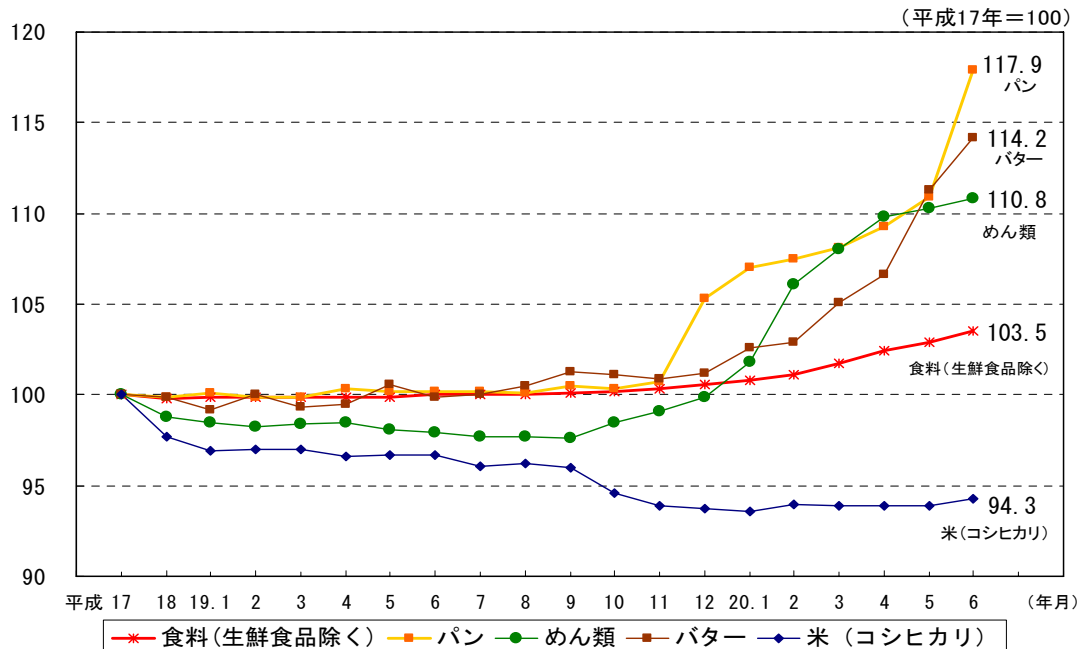


最近の小麦製品の価格上昇と米の需要拡大

最近の小麦製品を含めた食料品全般の価格上昇の中で、比較的価格の安定している米に需要がシフト。

○ 小麦製品を含めた食料品及び米の価格(消費者物価指数)の推移



【米販売業者等からのヒアリング(平成20年7月)の結果】

- 小麦、バター等の価格の上昇に中国産冷凍食品の問題も加わり、各量販店とも米の販売は前年同期比で10~20%の伸び。(量販店)
- 米の消費は、家庭用販売を中心にかなりのペースで拡大していると実感している。(米販売業)
- おにぎりの100円セールを行うコンビニや米の特売を行う量販店もあり、例年、米の需要が低下する夏場以降も、米の販売に力を入れる傾向が強い。(米販売業)

家計調査(総務省)では、二人以上の世帯の米の購入数量は、今年に入り6か月連続で、対前年同月比を上回る。

【1世帯当たりの米の購入量(二人以上の世帯)】

年	購入数量(kg)		対前年同月比(%)
	月		
2007 (H19)	1	4.93	98.8
	2	5.72	105.1
	3	6.38	92.6
	4	6.36	98.6
	5	6.31	95.2
	6	6.25	99.5
	7	6.33	100.8
	8	6.08	100.3
	9	10.25	114.8
	10	11.39	94.0
	11	7.50	104.0
	12	7.77	99.6
2008 (H20)	1	5.16	104.7
	2	5.84	102.1
	3	6.77	106.1
	4	6.48	101.9
	5	6.43	101.9
	6	6.45	103.2

資料:総務省 家計調査

□ 農林水産省の推計では、19/20年(19年7月から20年6月までの1年間)の需要量は、対前年16万トン増の853万トンとなる見込み。